

説明文を読むこと

名前

学習日

ポイント

- 書かれている内容をきちんと読み取りましょう。
- 説明の進め方や文章の仕組みを学びましょう。

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(①～⑤は、段落番号を表しています。)

- ① テレビをつけると、天気予報をよく目にしますね。ニュースの中のお天気コーナーや、番組と番組の間のほんの数分間などで、一日のうちに何回も放送されています。
- ② その中で、「夏日」「真夏日」ということを耳にすることがあります。これらは、その日の気温のちがいによって使い分けられていることばです。「夏日」とは、最高気温が二十五度以上になる日を指します。①、最高気温が三十度以上になると「真夏日」と言います。②、天気予報で、「今日は、真夏日になるでしょう。」

と言っていたら、最高気温が三十度以上になる予報が出されているということです。

- ③ また、①寒い場合にも、同じようなことばがあります。最低気温が零度より低い日を「冬日」、最高気温が零度より低い日を「真冬日」と言います。暑い場合とちがって、寒い場合には、基準となる気温は同じだけれど、その気温が一日の気温の最低なのか最高なのかによって分けられています。

- ④ これらのことばは、テレビだけではなく、新聞やインターネットなど様々な形で提供される天気予報が、だれにでも正確に伝わるように、気象庁によって定められた用語です。様々な観点から検討されていて、平成十九年に行われた改正では、「猛暑日」という用語が新たに加えられました。これは、最高気温が三十五度以上の非常に暑い日のことを言います。②この用語が追加されたのは、以前より気温が高くなる日が増えたために、それを表す用語を定める必要が生じたからではないでしょうか。

- ⑤ したがって、今後も地球温暖化などで日本の気候が変化していくと、それを表す新しい用語が出てくる可能性もあるということになります。

- (1)

1	・	2
---	---	---

 に入ることばの組み合わせとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア〔1 さらに 2 ですから〕
 イ〔1 しかし 2 ところで〕
 ウ〔1 そして 2 あるいは〕
 エ〔1 つまり 2 なぜなら〕

- (2) ―線①「寒い場合にも、同じようなことばがあります」とありますが、次の①、③について、「冬日」にあてはまるものはア、「真冬日」にあてはまるものはイ、どちらにもあてはまらないものはウで、それぞれ答えなさい。

- ① 最高気温が氷点下一度、最低気温が氷点下八度。
 ② 最高気温が六度、最低気温が一度。
 ③ 最高気温が七度、最低気温が氷点下二度。

①
②
③

- (3) ―線②「この用語」が指していることばを、本文中から書きぬいて答えなさい。

- (4) 次の文の説明に合う内容の段落を、

1

～

5

から一つ選び、段落番号で答えなさい。
 〈それまでに挙げられた具体例についてまとめて説明した上で、さらに別の具体例を挙げて説明を加えている。〉

- (5) 本文の内容に合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア「夏日」とは、最高気温が三十度をこえる暑い日のことである。
 イ 最低気温が零度よりも低い日のことを、「真冬日」と言う。
 ウ 天気予報で使われる用語は、テレビや新聞などによってちがう。
 エ「猛暑日」は、「夏日」や「真夏日」よりも新しい用語である。

説明文を読むこと

問題

解答	アドバイス
<div><div>◆</div><div>(1) ア</div><div>(2) ① イ</div><div>(3) ② ウ</div><div>(4) ③ ア</div><div>(5) ④ エ</div><div>猛暑日</div></div>	<div><div>◆</div><div>(2) ①は、最高気温が零度より低いので、真冬日になります。②は、最高気温も最低気温も零度以上なので、「冬日」にも「真冬日」にもなりません。③は、最高気温が零度以上で、最低気温が零度より低いので、「冬日」になります。</div><div>(3) 指示語が指す内容は、たいてい少し前にあります。</div><div>(4) 段落④では、それまでに出てきた「夏日」「真夏日」「冬日」「真冬日」についてまとめて説明した上に、さらに「猛暑日」について説明しています。</div><div>(5) 『『猛暑日』』という用語が新たに加えられました」とあるので、エは本文の内容に合っています。</div></div>